

ゆるめな

- ▶ 理事長のあいさつ
- ▶ 平成19年度 新採用者オリエンテーション
- ▶ 子育て支援 認証マークの交付
- ▶ ひまわり託児所デイリープログラム
- ▶ 第一回 まんのう健康・福祉まつり
- ▶ 編集後記



病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

● 理事長のあいさつ

新緑が目にしめるように美しい季節になりました。一雨ごとに新緑の色が変化していく様には、樹木のみずみずしい生命力が感じられます。

4月、大阪で第27回日本医学会総会が開催され、参加登録者は2万5000人にもものぼり大変盛況でした。「生命と医療の原点—いのち・ひと・夢」をテーマに、3日間にわたり種々のパネル、シンポジウムが開催されました。学術講演としては、最近関心が高まっているメタボリックシンドロームをはじめ、高血圧のメカニズム、冠動脈疾患の診断と治療、がん化学療法、ヒトゲノムと疾患、認知障害のワクチン療法、終末期医療、睡眠障害などがあり、画期的な最近の知見の報告、最近話題の解説が行われました。最終日、行われた特別シンポジウム「今日の医学教育、医療制度の問題点とその改革」では、一般市民、医療関係者約2万7000人が協力した事前アンケートで、全体の3分の2が日本の医療に「不満」という結果が出されており、それを踏まえて活発な論議がなされました。経済学者の宇沢弘文氏は、「経済に医療が合わせるのではなく、医療に経済が合わせる事が基本である」と強調し、しかし日本では、米国の影響を受けた市場原理主義の経済学者が医療制度改革のイニシアチブをとり常識を超えた診療報酬改悪を行い、経済が社会の病をつくってきたと指摘しました。シンポジウム「世界の医療と日本の医療」では、世界有数の長寿国を実現する一方で、医療費適正化と医療安全の要求の下、多くの医師が疲弊し熱意を失いつつある現状を打開し、医師が自信を取り戻すにはどうすべきかという意識で企画されていた。二木立氏は、安倍政権の医療政策は小泉政権の医療費抑制策を継承しているが、医療の質を高めるためには、公的医療費の総枠拡大が不可欠であると強調しました。



また、元厚生労働省老健局長堤氏は、政策担当者は政策や診療報酬を動かせば、現場をコントロールできているが、安定的に継続可能なものを作り上げていくべきであり、現場の方も政策、制度に支配されるのみでなく、それを条件としてどう医療をつくっていくかというスタンスをもつべきと指摘しました。

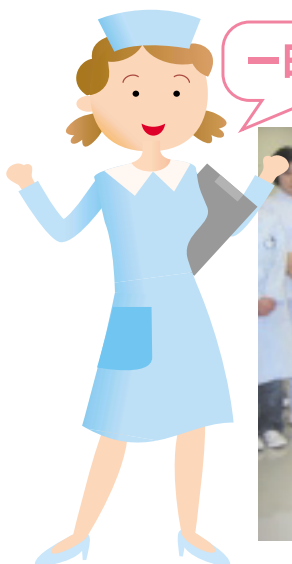
昨年4月のダブル改定から1年経過したが、ころころ変わる政策に経営者はじめ現場スタッフは落ち着きをなくし疲弊気味である。目にしめる新緑をみて、みずみずしいパワーを受けているが、もう少し夢と希望のある政策を期待したいと思います。

平成19年5月 理事長 森 伊津子

● 平成19年度 新採用者オリエンテーションを実施

教育委員会では、職業人として必要な知識・技術・態度を身につけ役割遂行能力を高めるため、全職員に向けて教育計画を立案し実践しています。

平成19年度は25名の新採用者を迎えました。3月29日にオリエンテーション、4月2日から4月11日は法人全体の各部署を体験し（配属される部署以外の所）、相互理解を深める研修を行いました。



一日でも早く一人前になるよう頑張ります!



●子育て支援 認証マークの交付を受けました



当院には院内託児所を設置し、働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。育児、介護休業取得者の職場復帰のための講習制度導入などを定めた行動計画を策定し、平成19年2月に認証マークの交付を受けました。



●ひまわり託児所デイリープログラム

ひまわり託児所の日



夏はプール遊び。
天気の良い日は散歩に出かけ、
3月にはちょっと早めのお花見をしました。



朝

7:50
登所・検温・自由遊び

9:30
片づけ・排泄、手洗い

9:40
おやつ

10:10
朝の活動



11:30
片づけ・排泄、手洗い・昼食・歯みがき・排泄

12:30
お昼寝



15:00
起床・排泄・自由遊び・片づけ

16:00
手洗い・おやつ・自由遊び

お姉さん達はセミ取りに夢中！
歩きながら作戦を練っていました。

寒くたってへっちゃら！
天気の良い日は外で遊んでいます。

16:30
順次降所

夜



● 第一回 まんのう健康・福祉まつり参加



平成19年3月21日、第一回まんのう健康・福祉まつりが開催され、当院の摂食嚥下委員会が参加して参りました。嚥下障害、口腔ケア、ソフト食、嚥下造影検査について説明しました。50名以上の参加があり、ソフト食はどのようなものなのか大変興味があったようで、質問も多く大変好評でした。

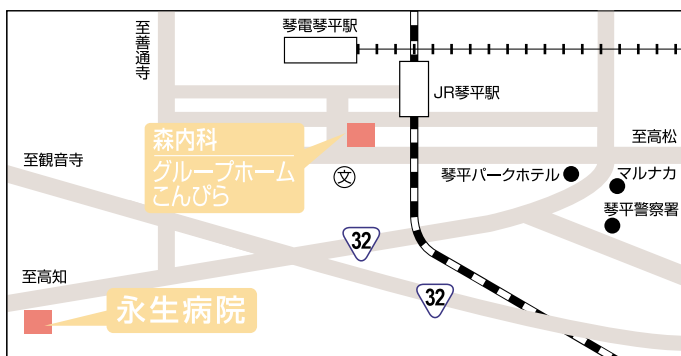


ソフト食とは以下のような特徴をもった食事です。

- ・舌で押しつぶせる硬さであること
- ・しっかりと形があること
- ・口に取り込みやすく、移送しやすいものであること
- ・まとまりやすく、咀嚼・嚥下がしやすいものであること

【編集後記】

新年度を迎え、永生病院にも新人スタッフがフレッシュな風を吹き込んで来ています。新人スタッフが、一日も早く、永生病院の理念に基づき、より良い医療人になれるよう教育に取り組んでいます。又、先輩スタッフも自己を見直す良い機会として、地域の皆様方に貢献できる永生病院になるよう努めてまいりますので今後共宜しくお願い致します。



医療法人 圭良会

- | | |
|-------------------------------|---|
| ● 永生病院 | 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300 |
| ● いこいの森 (訪問看護ステーション・訪問介護) | Tel 0877-73-3700 |
| ● いこいの家 (通所介護) | Tel 0877-73-3718 |
| ● いこいの郷 (居宅介護支援事業所・福祉用具貸与事業所) | Tel 0877-73-3655 |
| ● 森内科 | 香川県仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188 |
| ● グループホームこんびら (認知症高齢者グループホーム) | 香川県仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-0811 |

永生病院 130床 (一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第8号
 発行元：医療法人圭良会 永生病院
 編集者：医療サービス改善委員会
 住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
 TEL:0877-73-3300
 FAX:0877-73-3202
 永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
 eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
 発行年月日:平成19年5月15日